

議会活性化特別委員会 行政視察報告

1月23日から24日にかけて、委員7名、議長、事務局随行者2名の合計10名で、愛知県瀬戸市、愛知県岩倉市を訪問し、市民との意見交換会の手法や議会サポーター制度の概要などについて視察してきました。

■愛知県瀬戸市

市民との意見交換会へ

瀬戸市議会では、5月と11月の年2回グループワーク形式の意見交換会を開催し、テーマを設定せずに市民から自由に意見をいただく手法を取っていました。

そこでの意見は各常任委員会に割り振られ、調査・研究の後に次の意見交換会で市民に報告する政策サイクルに基づき、市民の声を政策に反映させていました。

意見交換では、段ボール製田形テーブル「えんたくん」を膝にのせて話し合う



愛知県瀬戸市議会

ことで、議員と市民の距離を縮め、意見が出やすくなる雰囲気づくりを、また、グループごと、そして会

場ごとに意見を絞ってもらうなど意見交換の手法を工夫していました。

また、平成30年度からは議員に対してファシリテーション研修を行っており、実践的な練習を通し、議員がグループワークに対応できるよう取り組んでいました。

今後の課題は、リピーター市民と初めての市民にどのように満足してもらうか、市民の意見を委員会で調査・研究し、どのように市民に返していくかにあり、議会の報告を意見交換会以外の場で行うことや市民の意見の活用に関して常任委員会と連携することが必要とのことでした。そのほか、近隣5大学と連携したプロジェクト「届け!!!わたしたちの声・まちづくりの想い」若者の政治参加を目指して「の效果や課題、専門的知見を活用した議員研修、議会情報番組やFace book活用など議会活動の報告のあり方について学びました。

■愛知県岩倉市

市民との意見交換会へ

岩倉市議会では、毎年団体などを対象に意見交換会「ふれあいトーク」を実施しており、そこでは集客からテーマ選定、ファシリテーター（司会）、議事録作成までを市民活動支援センターが行うなど、議会として効率的に市民の意見を集約していました。

また、政治に興味のある若者の団体「せいじくる」が中心となり「議会見学ファンツアー」を企画し、一般質問を傍聴した後にランチをしながら参加者と意見交換をするなどより多くの市民に傍聴に来てもらう取り組みを行っていました。この団体は議会と市民の間に立ち「外国人ママと市議会議員のおだんごトーク」や若者・団体との意見交換会を開いており、今後も緊密に連携し市民との意見交換を進めていくとのことでした。

令和2年1月、2月には意見交換会を6回行う予定であり、議会による集客が難しい中で回数をこなすため、団体の会合の前後に時間を割いてもらうなど人が集まっているところに議会が出向くようにしているとのことでした。

今後の課題としては、どのようにして女性や若者の声を意見交換という形にしていくかが焦点になるとのことでした。議会サポーター制度では、サポーターの数を100人以内に設定したり、再任



愛知県岩倉市議会

募集の案内を送ることで、今まで関心がなかった市民にも興味を持ってもらう取り組みを行っていました。

そのほか、議会傍聴者の発言の取り扱いや政策提言の概要について学びました。

■視察を終えて

今回は、主に議会報告会における意見交換の手法や内容などのさらなる充実のために、瀬戸市議会、岩倉市議会を視察しました。

両市議会ともに、議員から直接、実情や課題点などを聞くことができ、今後の加賀市議会での取り組みを進めるうえで大変良い刺激となり、特に瀬戸市議会ではグループワークを体験でき、今後の企画・運営の参考となりました。

今回の視察で学んだことを踏まえ、議会報告会の改善など市民が参加する議会としての取り組みの推進に向けて、議会活性化に向けて委員会での検討を、より一層進めていきたいと思えます。